卒業論文一覧（令和元年度）

―令和元年12月20日現在の卒論提出者ならびに提出予定者―

麻生良文研究会

安藤　大助　　日本のベンチャー戦策
石見淳太郎　　環境配慮型建築物の普及について
緒方　彪人　　都市制度の見直し（仮）
川戸　恒亮　　ソフトバンク、楽天参入事例から考える2020年以降の MNO 市場分析
久留宮大輝　　日本におけるフィリップス曲線のフラット化―インフレ予想のアンカー効果の実証分析―
戸隠　亮太　　四国地方における競技施設の集客分析と集客最適地点の検証―重力モデルを用いた定量分析―
長谷川真之介　　人口消滅論は成立しない
松本　彩果　　施設サービスの供給から考える介護の社会化と介護保険制度の在り方
皆川　　輝　　空き家問題と生産緑地制度（仮）
安井　希望　　観光公害と観光税施策（仮）
吉村　彰人　　アメリカ医療保険制度のあり方と検討

出岡直也研究会

金子　梨香　　チリの教育バウチャー制度変更における政策決定過程の考察
堀　　結美　　コロンビアにおける「社会浄化」の原因究明

大山耕輔研究会

河村　真琴　　高レベル放射性廃棄物最終処分場の選定の促進要因

小川原正道研究会

岡林　嵩介　　『南学史』から見る土佐藩の思想の成立
田島　爽也　　政治的側面から見る日本のオリンピック初参加とその意義
田中美也子　　国民は政治とどう関わるべきか
谷田部蘭香　　山田耕筰の人生とオペラ《黒船》からみえる明治維新観
浜　　光一　　三菱に対する福沢諭吉の影響と荘田平五郎による福沢の輸入
堀井　優太　　明治期来日外国人からみた日本人の宗教観

笠原英彦研究会

新井　隆文　　杉並区の待機児童問題の要因分析
江森　美輝　　文化芸術振興基本法の成立における政治過程
加藤　玲奈　　日本の介護政策の現状と課題についての研究
川野　千尋　　戦後日本の占領下から経済成長期の教育改革

菊池　祐美　近代教育制度の確立
酒井はるか　政策から見る横須賀市の人口減少問題～藤沢市との比較を通して～
中川　恭介　介護業界における人手不足解消施策
新田美沙希　石原都政下における都立小児病院の統廃合に関する研究
山本　一真　官民連携

粕谷祐子研究会

小笠原亜弓　The Political Economy of Government Expenditure on Secondary Education（仮）
久保田健太　ラテンアメリカにおける軍政と移行期正義
小林　泰　オリンピックへの入札が都市開発に与える影響
杉野　貴哉　東欧における民主主義の後退
高須賀美保　政治形態は開発援助の政策決定にどのような影響を及ぼすか（仮）
種田　航介　管轄省庁の構成の違いが援助制裁措置に与える影響についての比較研究
寺尾　彩子　The determinants of the degree of democracy: Comparing the liberation movements in Africa
中山　航知　レンティアポピュリズム体制継続の関係性
西村　佳子　東南アジアの権威主義体制
野田　麻美　リージョナリズムと地方分権―ヨーロッパ諸国におけるエスノ・リージョナリスト政党と地方分権の関係―
早矢仕桃子　女性党首が選ばれやすい条件
真坂　卓実　比較政治学と移民
山中　智樹　民主主義の停滞
山本　寛士　An Epistemic/Ontological Investigation Regarding Scientific Explanation Models

小嶋華津子研究会

小田代季恵　地方創生のための観光政策～福岡県を例に～
木島　杏　中国に見る儒教の再興とその多面性
胡　淳　電子決済における現状及び今後の発展
後藤　優佳　中国における留守児童の支援の可能性と限界～四川省のケースをもとに～
坂部　桃佳　中国における宗教政策の限界
檀上　絢子　採用制度からみる日本企業の特殊性―国際比較をふまえて―
朽尾　結　フードデリバリーをめぐる法規制の日中比較
林　大介　中国のロックミュージックの歴史と今後
水野　良麻　対中国外交における日本政府の関係改善プロセスとその有効性
宮本　憲杜　海外進出企業の現地化における企業独自性の構築―HONDA と Panasonic の中国進出を例に―

澤井敦研究会

阿部ひろの　キャラクターを愛す大人たち―ネガティブキャラは何故好かれるのか―
魚住　俊太　障害者と向き合うために―メディアでの扱われ方―
木下　実優　持続可能な地域づくり　社会的孤立の克服
坂口あかり　承認欲求との向き合い方―いいね！に振り回される若者たち―
重松　理沙　現代日本人と死別―これからの悲嘆作業を考える―
渋谷　佳且　地域スポーツクラブとステークホルダーからみる地域活性化―フウガドールすみだを事例に―
東海林拓実　スクールカーストとは～コミュニケーション能力を基準とした格差社会の実態～
関本　優乃　日本のクラシックバレエの閉鎖性と経済負担
野村　直矢　なぜアニメ聖地巡礼に惹かれるのか―アニメ聖地巡礼から見るまちおこし―
船木　杏奈　ジェンダー平等のための「女並み」男性の可能性
松永みなみ　企業広告の炎上を防ぐために
松村　　和　映画の鑑賞傾向からみるＺ世代の価値観―「みんな」がいなくなった時代の「大衆」娯楽のあり方―
森本　琴衣　御朱印ブーム―御朱印ガールと現代社会―
八木　理子　情報社会と摂食障害―情報が作る「摂食」という社会―

塩原良和研究会

大井　椋介　GRIME: Transforming Subculture and its Cultural Identities ～ Based on Fieldwork in London and Comparision with Punk ～
大村明日香　日本のスキー場における外国人との共生～野沢温泉と白馬村の比較研究～
岡田　直之　多文化共生社会に必要な教育テレビのあり方
奥島ひかる　日本には女子高が必要か～ジェンダーフリー教育を目指して～
小林　麻結　国際結婚の現状と課題の考察
新町　祐生　外国にルーツを持つ子どもたちの希望とは～鶴見よる教室の事例から～（仮）
冨永菜々子　帰国子女の文化的アイデンティティとその葛藤
濱本珠々代　幸せのための働き方改革～自己決定と社会貢献の意識が仕事を通じた幸福感に与える影響についてのケーススタディー～（仮）
日吉　遥香　外国にルーツを持つ子どもたちの編入を促進するための社会的環境～授業内支援と地域支援から～
藤岡　咲季　地方創世で外部人材が活躍する背景と課題～群馬県上野村の事例から～
松村　拓朗　佐渡・海外府地方の衣文化の変遷をたどる旅（仮）
松村茉由子　孤育てを防ぐための新たなコミュニティ作り（仮）
森住　大樹　都市における地域コミュニティのあり方とは？～その限界と可能性を探る～

杉木明子研究会

小澤　尚生　中国のアフリカ諸国との関係構築について（仮）
川邉　真由　ルワンダと南アフリカ共和国におけるジェンダー平等化政策とジェンダー平等化の現状
工藤　翔平　アフリカで民主化運動が起きる要因について（仮）
杉山　優季　アフリカのウィッチクラフト―呪術的実践が行われる本質的理由について―
鈴木　健斗　コンゴ民主共和国の紛争鉱物問題から考える、日本の規制効果と規制意義
関　　俊平　南アフリカ共和国とナイジェリアにおける聾教育の比較
祖父江律希　サハラ以南アフリカにおける電力へのユニバーサルアクセス
田中　杜人　未定
中島　友樹　SAPEUR と反帝国主義―SAPEUR は「真似」なのか―
西村　玲海　「未承認国家」を国際社会が承認する具体的要件について―ソマリランドを事例として―（仮）
橋本　果奈　トロフィーハンティングはアフリカゾウの保全に役立つのか？
比屋根り子　アルビノ・キリングとメディア
森川　夢弓　日本の中古車輸出ビジネスとアフリカ諸国が抱える課題（仮）

添谷芳秀研究会

淺原　太地　ODA から分析する“国益”（仮）
石沢　啓輔　朝鮮半島有事と日本
石田　美颯　日豪協力の「伝統的な安全保障」機能と「ミドルパワー協力」機能～米国と中国の要因を中心に～
小野　真依　日本外交における人間の安全保障政策
川田　祐輝　東シナ海ガス田の日中共同開発合意に関する一考察
窪川真理菜　日本の対韓広報文化外交―文化開放政策による変化―
黒川　瞭子　従軍慰安婦問題の解決を阻んでいるものは何か
白川　栞里　ポスト冷戦期の日米関係～同盟漂流から再定義にみる日米の構造～（仮）
鈴木　雄大　米英との比較からみる日本の対外援助～円借款が多い要因～（仮）
鈴木　　力　日加関係の歴史的展開と現状
鶴丸　侑子　日米同盟と東アジアの多国間安全保障協力の関係性
福津　遼也　有田八郎外相と日独防共協定
古川　圭吾　日本の安全保障政策における資源権益の確保
安井　航平　外交・防衛政策における争点投票～イージス・アショア配備を巡って～
山上佳那子　日本の対米広報文化外交

高橋伸夫研究会

飯嶋　拓未　ハンナ・アーレントの「社会」概念の単一性に関する考察
袁　　満　中国不動産について

近藤　環衣　　1990年代中国のカウンター人権外交
佐藤　孝紀　　毛沢東の体育・スポーツ政策の目的
友松　明里　　昭和天皇の日中戦争観（仮）
西方　超士　　聂耳の生涯―「革命音楽家」の文脈で語られるべきか―

竹ノ下弘久研究会

小川　　翼　　北欧諸国の経済政策を日本に適用することによる日本の税制への効果
荻野　遥香　　慶應義塾の人脈に関する研究
落合　信平　　大学から人気企業への接続に関する研究―塾生の内定獲得過程を事例に―
野呂　優太　　あいりん地区から紐解く西成特区構想
福津虎ノ介　　小・中学生の学習意欲の形成要因に関する研究

田所昌幸研究会

伊藤　　花　　カンボジアにおけるポル・ポト政権後の教育復興と国際援助のあり方
内村　竜大　　未定
小関　静花　　未定
小林研一郎　　日本外交における石井菊次郎の働き
高橋　愛実　　毛沢東の大量虐殺
富永　貫太　　未定
林　　勇利　　未定
平田英美里　　未定
廣畑　秀叔　　未定
山室　光平　　スエズ危機におけるアメリカの外交政策

田上雅徳研究会

李　　峻成　　沼地の黙示録（仮）
泉　　葉子　　静かなる革命を契機としたケベック人のアイデンティティの変容（仮）
井上　桃子　　アメリカ黄金期の「信と知」―アンディ・ウォーホルの聖と俗を巡って―（仮）
岩澤　　武　　教育者としてのトレルチ―その教養論と教育政策―（仮）
岩本　里沙　　フランスにおけるデモとラディカルデモクラシー（仮）
大川弘太郎　　リーダーシップ論の不在―マキァヴェッリの君主観を読み直す―（仮）
金子　　凱　　21世紀における教会からの破門（仮）
榊原　直也　　バートランド・ラッセルとポール・マッカートニーの平和観（仮）
塩田　勇希　　自由と自殺の関係～自由であるほど死にたくなる社会（仮）
島田　杏華　　壁ではなく「橋」を築く教皇―教皇フランシスコ―（仮）
福神栄太郎　　大戦下の天理教（仮）

玉井清研究会

岩崎　成徳　昭和恐慌期の社会相―大卒就職活動を中心に―
江橋　麻由　戦時期の日系カナダ人―*The New Canadian* を中心に―
太田　裕之　南満州鉄道株式会社の財務体質と日本政治の関係性について
笠島　聖嘉　昭和中期に見る作戦記録画の変容と発展―軍部メディア画家の構造に着目して―
久保田雄樹　貴族院による第一次山本内閣に対する倒閣運動
小林茉莉花　少女雑誌の変容と比較考察―表紙・入試・小説を中心に―
嶋田　ココ　昭和初期における放送用語の形成―放送の中での方言の変容―
松木　大輔　「非常時」下の新聞連載４コマ漫画が描く世相
牟田口　輝　昭和戦中期における対印度認識
柳川　樹奈　原節子とその時代―戦後理想の女性像を求めて―

西野純也研究会

淺野倫太郎　なぜ在韓米軍のプレゼンスが変化していないのか？―第１回米朝首脳会談以降の在韓米軍プレゼンスの規定要因を分析する―
石田　大悟　金正恩―習近平政権期における中朝関係の変化―中朝関係の規定要因と及ぼす影響―
井上　晴賀　日韓歴史認識問題と新聞報道の関係性―日韓三大紙で見る元徴用工問題を通して―
荻田すみれ　北朝鮮の外交における中朝関係の重要性―2018年以降の５回の首脳会談から分析する―
奥田　和志　中国の経済援助による債務不履行の課題―中国と受け入れ国双方からの検討―
梶浦つばさ　なぜ日韓歴史教科書問題は政治外交問題化したのか？～1982年前後の比較から見る直接的・間接的要因とそのメカニズム～
小泉　理央　香港デモに参加する若者の民族意識～2019年デモと雨傘革命から見る～
設楽　侑暉　なぜ日本人は芸能人の政治的発言を嫌うのか―日米韓における世論の反応と政党システムの比較に基づく一考察―
篠田　健人　チョン越書記長の対中軍事政策―南シナ海進出問題後を第一レベルから分析―
清水　真帆　『82年生まれ　キム・ジヨン』は韓国社会に何を問うたのか―フェミニズム運動の動きから考える―
鈴木　舜也　大法院判決が持つ政治外交上の重要性―大法院判決後における日韓両政府の対応から分析―
髙木沙椰子　韓国の対オーストラリア外交の特徴―ミドルパワーと安全保障環境の共有者としてのオーストラリア―
滝沢周一郎　なぜワシントンは対中強硬路線へと舵を切った（切れた）のか？～トランプ政権の対中安保戦略を形成・後押しした個人レベル・政府内要因の分析～
田村　直哉　なぜイギリスは Brexit を選択したのか～今後の地域統合と世界政府

の可能性～

寺本　沙織　　徴兵制が韓国社会に持つ意味―ジェンダー的側面から世論を見る―

林　　莉穂　　なぜ韓国で「ろうそくデモ」が起こったのか～社会的背景から探る～

久田茉由子　　反日の誤解（仮）

藤澤　明子　　アメリカの東南アジア経済援助の変遷―中国台頭の影響は―

前田　瑠夏　　技術覇権をめぐる米中対立―最新情報通信技術5G を中心とした争い―

三好　由実　　「超」少子高齢化に対する韓国政府の対応―少子化対策とその背景にあるものは―

山﨑莉理香　　なぜ中国は強硬なウイグル政策に舵を切ったのか～対外政策との関係性から分析する～

渡辺　亘祐　　トランプ政権はなぜイラン核合意を離脱したのか～政治的観点と政策的観点からの分析～

萩原能久研究会

伊藤　麻琴　　イスラエルのユダヤ社会における宗教と国家、民族の関係性

小野　　櫻　　男性の生きづらさと女性として生きること

川元　健右　　1960年代から現代にかけての日本の伝統的な陶産地の発展

田中　夏美　　言語が人格形成に与える影響

中川　太郎　　クリケットが生み出す現代の大英帝国

平井　啓太　　国内農業の課題と可視化による農業生産支援について

前川　　稜　　アーレントが位置付ける教育の領域について

山田峰也子　　多民族社会ベルギーにおける「異なる共同体の存在」とは～レイプハルトの多元社会モデルの妥当性について～

細谷雄一研究会

板津　直哉　　ブトロス・ブトロス＝ガリによる平和強制部隊構想の挫折―UNOSOM Ⅱからの検討―

稲川　梨沙　　マッカーシズムとアメリカ外交の変容

岩間慶乃亮　　米印接近とネルー政権の対中政策の変容：1956～1962―冷戦「雪解け」期における中印国境紛争―

上山　菜月　　ジョージ 4 世の外交的意義―エドマンド・バークの美学を織り交ぜて―

梅津　吾論　　ハワイにおける日系人と移民会社―日米衝突の萌芽として―

尾高　真澄　　EU 拡大と新しい東方問題

金子智奈美　　ピウス十二世時代の対米国バチカン外交―1939年～1949年―

岸川　優也　　EU 離脱をめぐるイギリスの国民投票と両陣営のキャンペーン―英メディアの報道姿勢からの検討―

北田　紗弓　　フランス外交と規範についての一考察―アラブの春における外交政策から―

駒ヶ嶺明日美　　日本帝国委任統治における保健衛生政策―1922～1939年を中心に―

笹岡　拓未　　建艦競争が英独関係に与えた影響―イギリス外務省の視点から―

鈴木　陽大　　戦間期及び第二次世界大戦時における空の英雄リンドバーグの社会的

貢献

田辺アリンソヴグラン　戦後フランス極右の結集―国民戦線はいかにして結成されたか―

田村　允　イギリス東インド会社の繁栄から規制まで―超巨大企業の非国家主体としての可能性―

辻　拓也　人類史上初の非核地帯はいかに生まれたか―メキシコ人外交官ガルシア・ロブレスの功績を辿る―（仮）

堤　規鷹　カジノ資本主義と国際金融危機―新自由主義がもたらした投資家の利益創出―

成田真惟子　サッチャー政権期イギリスの新自由主義革命～新自由主義がもたらした地域／経済格差～

野村　律絵　イスラエルの文化浸透戦略：ジャズ奏者のソフトパワーから

馬場　寛道　戦後日本の保守論壇における「政治」と「文学」―三島由紀夫と永井陽之助を中心に―

羽緒綜太郎　統一ドイツの安全保障政策の変遷：社会民主党の視点から（仮）

平井　拓磨　辛亥革命以前のイギリス極東政策、1905～1909年―日英同盟と門戸開放の狭間で―

堀　由佳　オーストリア・ハンガリー帝国とバルカン地域からみる第一次世界大戦の起源―欧州協調と大国の無関心―

南　昇吾　米中ハイテク覇権争いと中国の技術史―改革開放政策後からドローン技術まで―

三宅　量子　イギリスの EU 離脱と東欧移民について

三好理紗子　ヴィクトリア朝社会の女性の生活と女性解放運動―克服できなかった矛盾―

村田百合香　第一次世界大戦前後のイギリスの石油認識及び東方戦略の変容

森田　薫　都市国家シンガポールの国家戦略―東南アジアの対外政策から―

柳　百香　The Divierging Point of 1965 ～ What stood at the crossroad for South East Asian authoritarian regimes to be developmental or predatory ? ～

山本　貴智　イラク戦争とアメリカの宗教右派勢力―「正しい戦争」を推し進める宗教界―

吉村　優作　瀧口修造のシュルレアリスムにおける政治性―アンドレ・ブルトンとの比較―

好村周太郎　19世紀転換期における大英帝国の対米外交―「パックス・ブリタニカ」の崩壊と「特別な関係」の萌芽―

若狭　佑貴　タレイランと大国フランスの運命―怠惰と逸楽を愛した外交官―

宮岡勲研究会

青山　芽生　北朝鮮の政治的行動と米国の対北朝鮮政策の変容―クリントン政権とW・ブッシュ政権を中心に―

伊田　有騎　主要貿易国による経済制裁の有効性―米国のイラン制裁を事例に―

牛田　有紀　9.11後のインテリジェンス機関改革―W・ブッシュ政権からトランプ

政権まで—

佐藤　萌衣　権威主義的平和構築の有効性—カンボジアとスリランカの事例を中心に—

千草　歩実　サイバー戦争の革命性—「スタックスネット」を事例に—

マユーかれん　紛争当事国の同意に基づく PKO と安全保障のジレンマ—カンボジアとキプロスの事例を中心に—

三河　孔介　米国国内における対中軍事戦略に関する論争—ギアアップ、撤退、積極的拒否戦略の分析を中心に—

光澤　大智　国家の費用便益計算による国際政府間組織離脱の選択—Brexit と Grexit の事例を中心に—

森本　千恵　保護する責任と内政不干渉との矛盾性—ミャンマーのロヒンギャ問題の事例を中心に—

米倉　　京　未定

渡部　晃輔　資源開発の不確実性と重商主義—中国の一帯一路構想と日本のシーレーン防衛を中心に—

山本信人研究会

加藤　瑠莉　What is Belonging? Or, The‘Search’for Belonging?: A Critical Review

日置　楓子　ネオリベラル化した現代社会—ディストピア小説の再評価の考察—